

ぼくは、原爆の話と聞いて、やはり戦争は

二度と戦争はしてはいけなないと田んぼに

た。なぜなら戦争で使う原爆で多くの被

害者がでるからで、おしかもそのせいで、もう人

間じゃないという程の姿になるなんて想像でき

ません。そしてその原爆を、広島と長崎

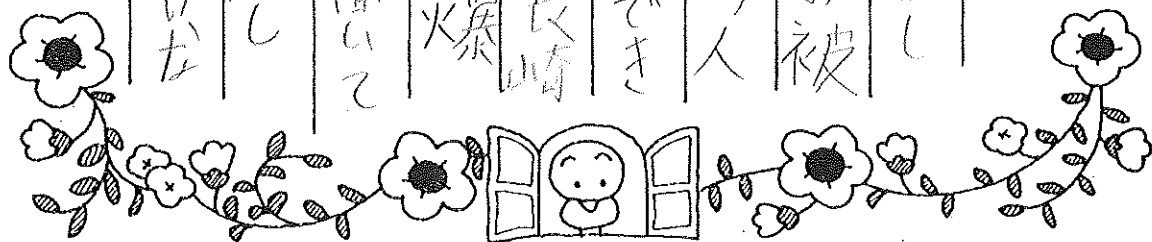
の二ヶ所に落とすなんて酷いのです。原爆

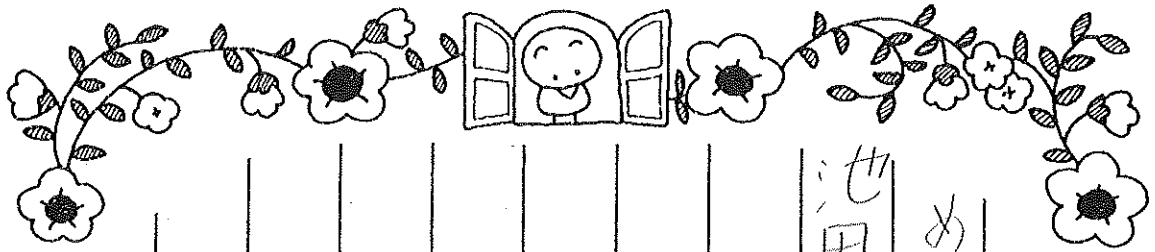
の話を知って、本当によかったです。これを聞いて

原爆の恐ろしさ、戦争の決心しさ、非人し

き、そして、戦争は二度と起こしてはいけな

いということ、世界でまた戦争を





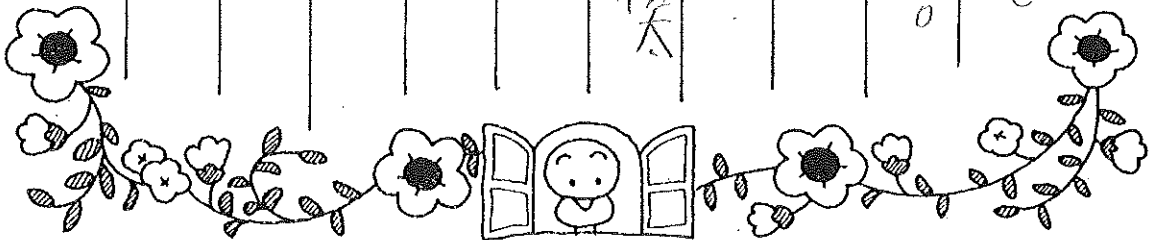
している国があるから、一刻も早くと

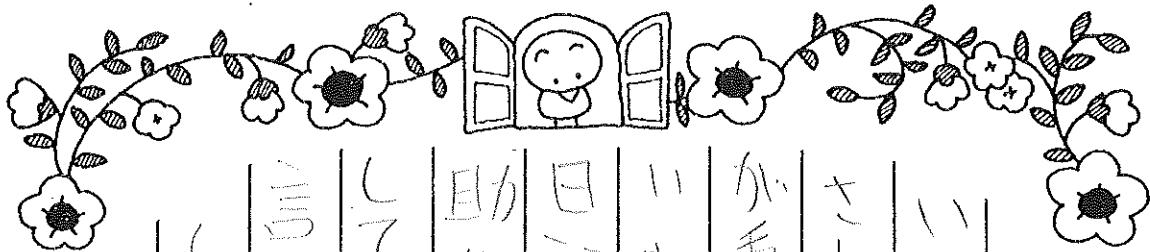
めなキもいけませんを改めて感じました。

田さんには本当に感謝しています。

青市第九小学校

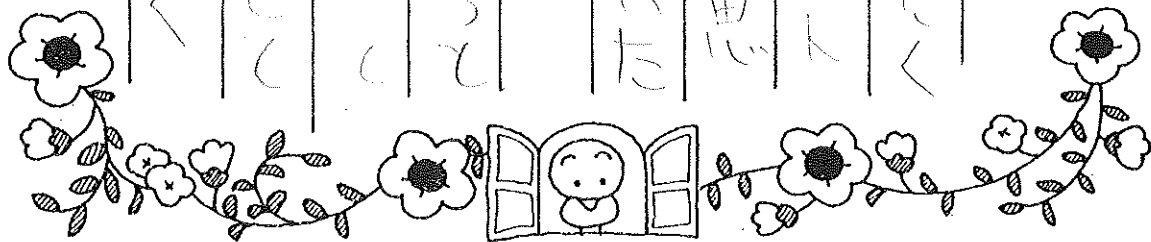
六年三組北祐太

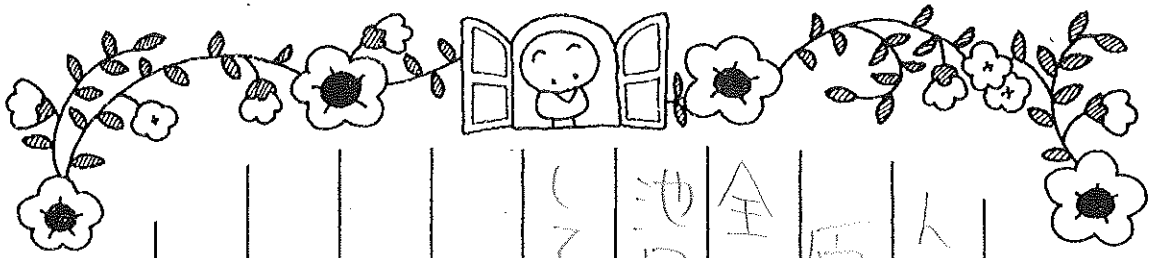




ぼくが、原子力ばくだんの話を聞

いて思った事は、たっさつのはくだんではなく
サトのサの命がなくなつたり、たっさつサトのサ
が乗し、つを、して、すごく、あつ、さう、と、思
いました。池田サトのお父さんの書いた
日記の中で、あつ、さう、と、思、た、こ、は、
助けを求めて、手をのばして車に乗ろうと
して引、は、つ、た、り、あ、つ、か、は、か、つ、さ、つ、の、こ
つ、つ、と、い、う、事、は、あ、つ、さ、つ、の、こ、を、し、し
て、ま、つ、た、の、キ、ン、ぶ、ロ、に、う、い、中、が、あ、つ、
と、い、う、話、は、す、ご、く、目、取、無、心、で、し、た。





ほくはもう日本へ、原子力ばくた
んがあちてこないでほしいです。

原子力ばくだんのおそろしさを
全国のくに知ってほしいです。

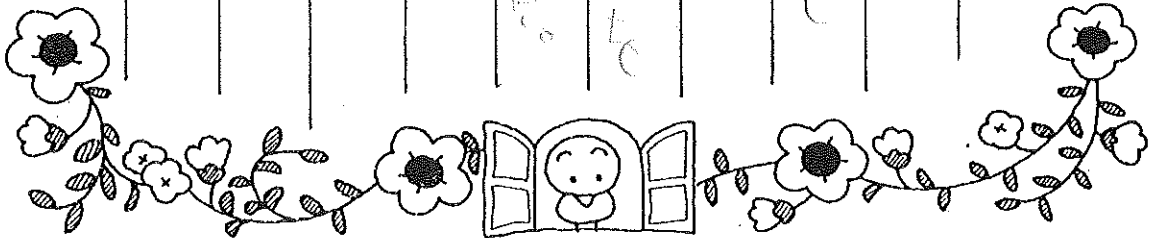
池田ヤシトが来て原子力ばくだんの話を
してくれてすごくいい勉強になりました。

ありがとうございます。

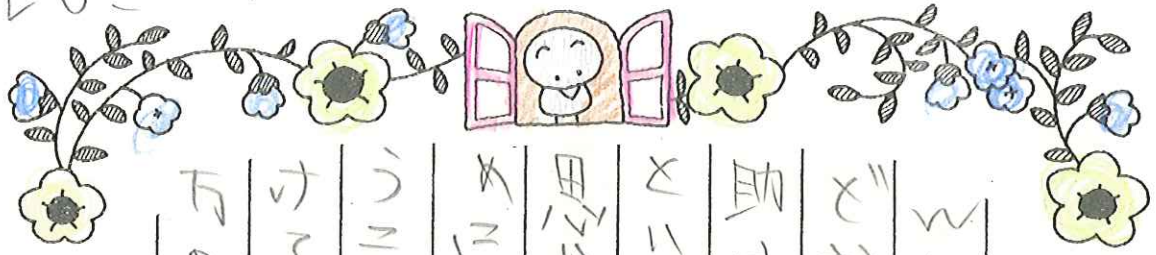
613

由利

大河



202



問の姿はなにか、たと知たときよ、なぜこ

んなことを人間がしてしまふのか、どうして人

どおとて苦めてしまふのか、ふしぎでした。また

助けを求めていふのに、助けてあげられな

といふことは、たと見捨てがよおえなはな

思いました。そして水が出なくて消火できな

い、家をたおして、これ以上火を出させないとい

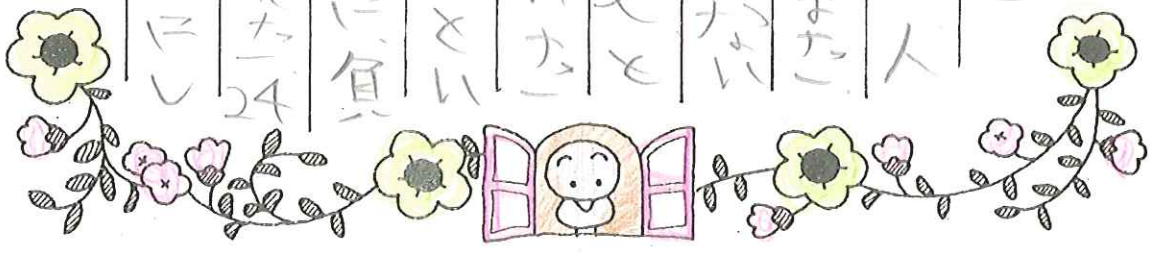
うことしかできなかつたのは、日本は、完壁的に負

けてしまつたんだなと感ぜしました。この被爆さ

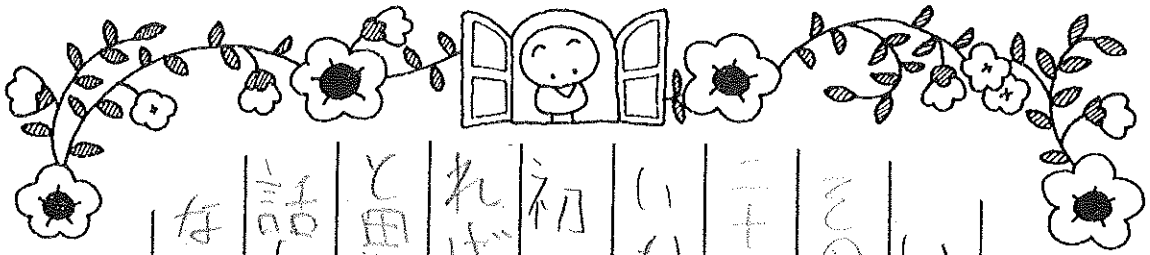
たの人、そしてその約30%の人の死を無駄にし

ないよう二度と、同じ失敗をくり返さない

オオオオオオオオオオオオオオオオオオオオオオオオ



立川市立第九小学校6年子組 山田裕太郎



ぼくは戦争は、すぐおそろし

いなと思いました。なぜかという

この戦争で死んでしまおう人が多くいて

二十歳いになると必ず軍に入らな

いけなからです。なぜ日本は戦争を

初めたのかなと思いました。戦争な

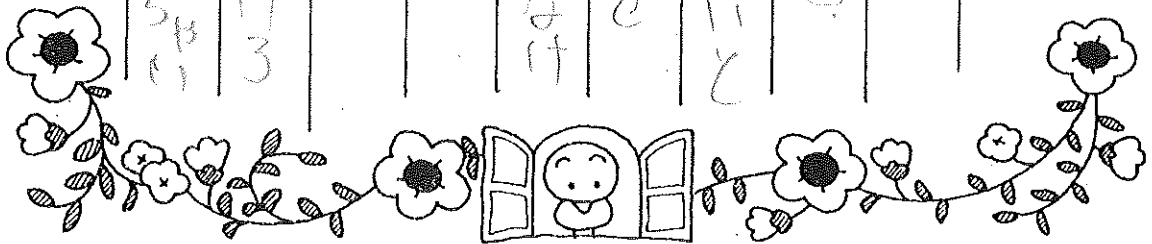
ればいまままで平和で暮らして

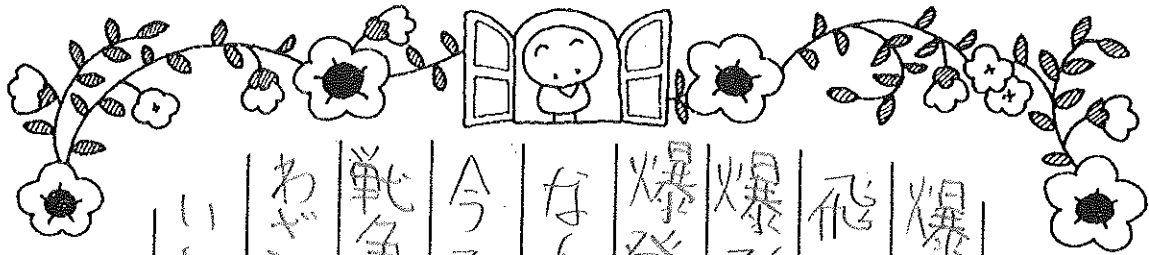
と思ふときがあります。

話を聞いていると兵士は、全国

の所に行かならなく戦争に立向

けないので大変ななと思





一番こわいのは爆たんです。

爆たんは、空で爆発している。人な所に

飛びちっていくのです。建物の後の家でも

爆発してしまふからです。

爆発地から三キロメートルまでの人が逃げ

なくて、すぐそこあいです。

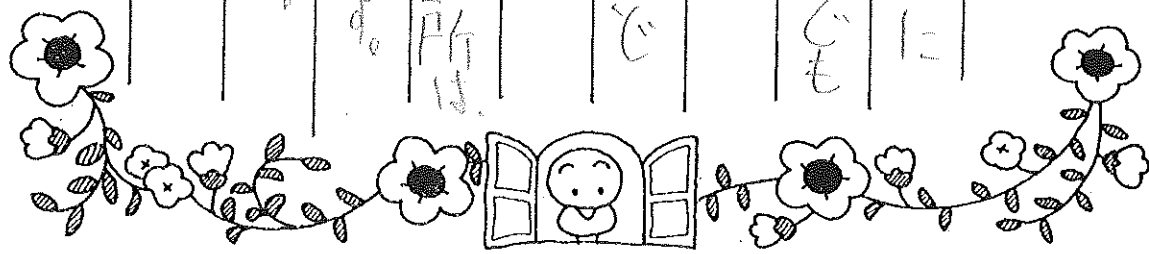
今でも残っている原爆どくやいろいろな所は

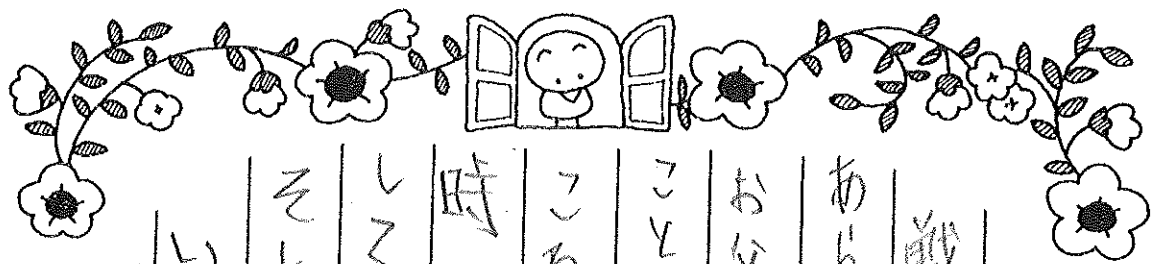
戦争を知っているのこせび行ってみたいです。

あごわや遠くからありがとつづこがいました。

いい勉強になたと回ります。

六年三組 唐亀 颯太





僕は、池田さんの話を聞いて

戦争は、ものすごくおそろしなものだと、

あらためて思いました。そして池田さんの

お父さんは自ら戦争に行くことは大変り、はな

ことだと思ひます。そして僕が一番

こわりと思ひたことは、原爆が落ちた

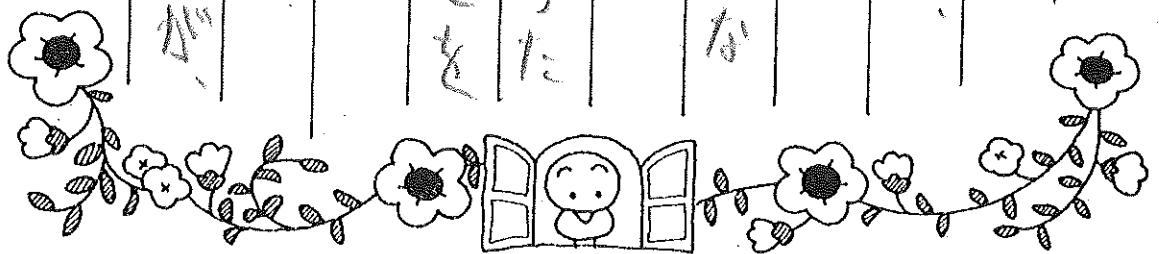
時にもものすくすく熱くなりそしてやけどを

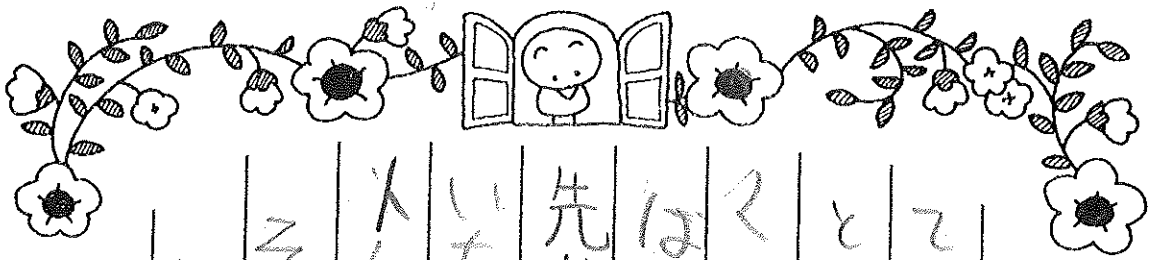
しただけがホロホロになったり

そして死んでしまつたことです。僕は、

いっしょのうちに死んでしまつた原爆が、

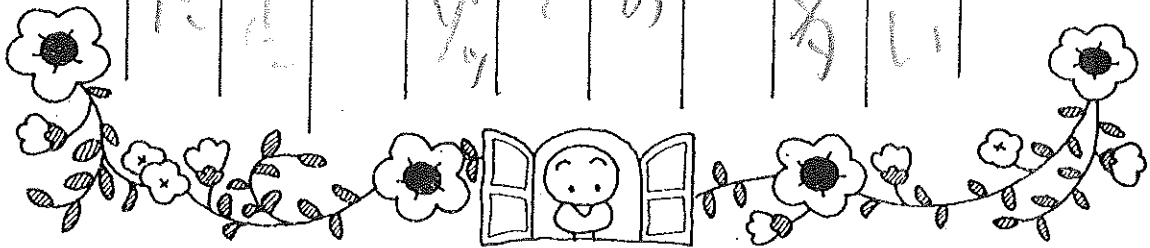
こわりと思ひました。そして

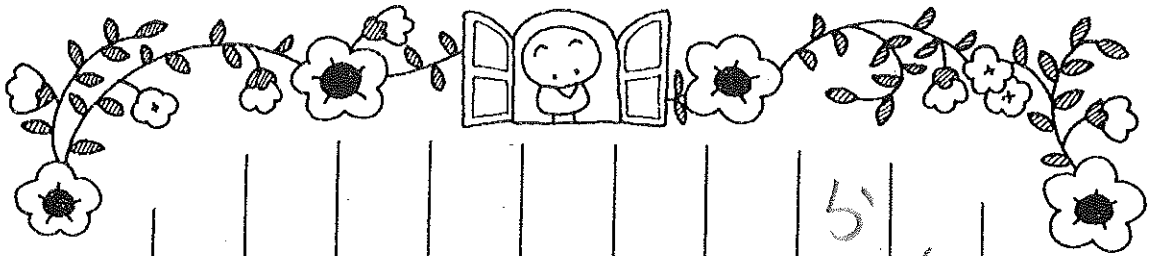




ぼくは池田さんの話しを聞いて、戦争は二度とやっては行けないと思いましたが、なぜかと言うと、原爆で多くの人が死亡してしまいがちです。はくは、人間の脈心がはかちて、抱の先から人間の油がポタポタと垂れてきたとき、この話を聞いて、10月中がゾクゾクしました。

そして、女性の生きた体の10月中にうじ虫がわいていると聞いたときは、体全体がゾクゾクとした。



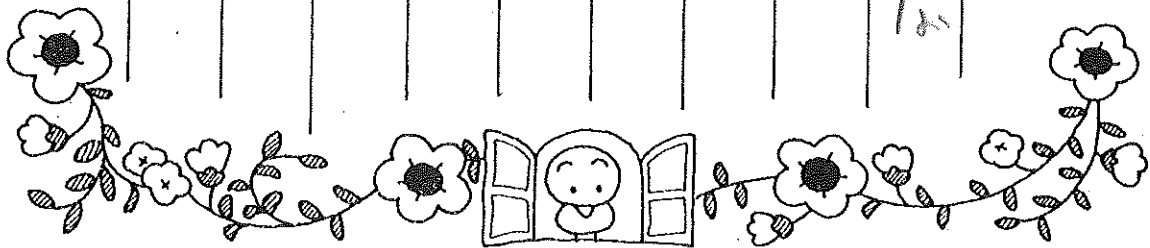


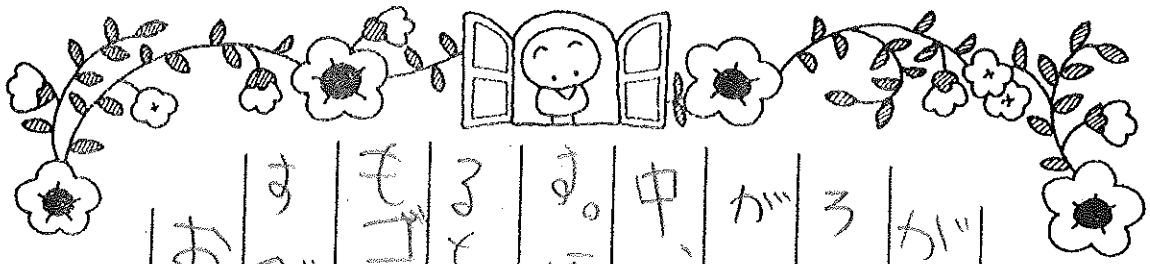
ました。

たので戦争は二度と起てはな
らなりことだと思ひました。

6-3

高自
樹





先日はためになるおはなしあり

が、ようございまして。ぼくはおで

ろりたところがたくさんまりました。ぼく

が一番おどろりたのは、生きた人間の

中、うぐいしがはい、こいふてした時で

す。ぼくは、原爆がウランからできてこり

るとして、そこもおどろこさした。しか

もゴルフボールの半分から、むろしまが

すべて、やけてしまふと、してても

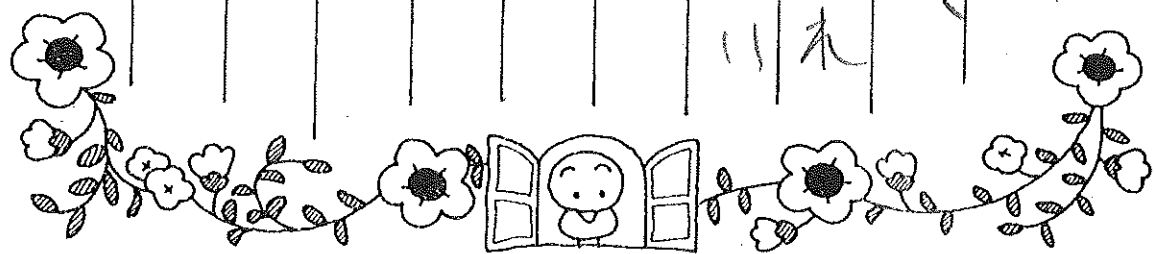
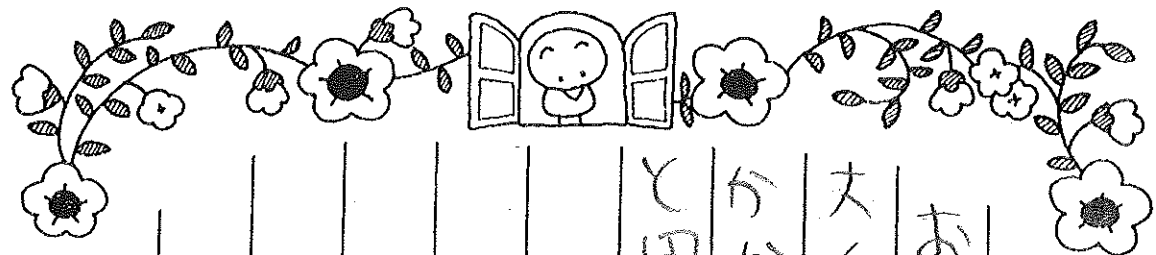
おどろきました。それに、ナイ

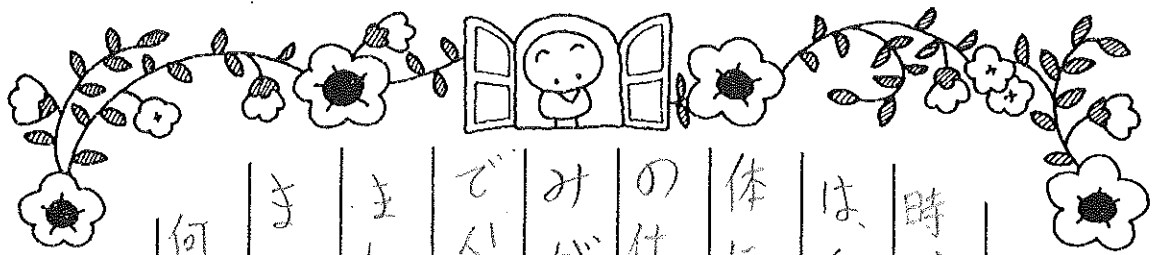
ご軍たいに、めりなければな



らないうし、た時モヤモ
おびろき、ました、せんそ、うは、
夫くの人か死んでしま、うのび、これ
かかば、せ、たいにあ。こは、け、な、い
と思、い、ま、し、た、た、い

九小6年より





今日僕は、被爆体験者の話を聞いて、戦争

時代の生活の苦さ等を知りました。戦争時代は、兵隊の人達は、消火作業の時、たくさんの死

体にもき、あ、たりしたと聞いて、兵隊の人達の

の仕事は、とても大変で、そして、たくさんの悲心し

みがともな、ていると思心いました。人々が死ん

でいる次々は、もうどうしたただけで非心しくな、てき

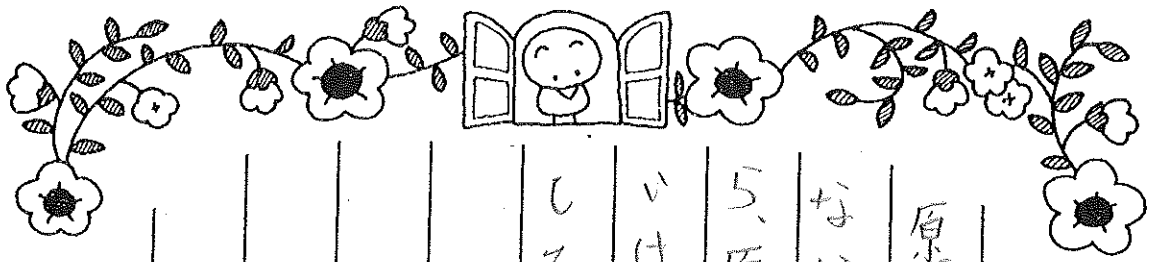
ました。

また、原爆の話をしられた時、最初の話は、

何を言、ているか、あ、か、ら、な、か、た、け、ど、先、生

か、話、し、て、い、る、次、々、を、見、て、は、ん、と、な、く、だ



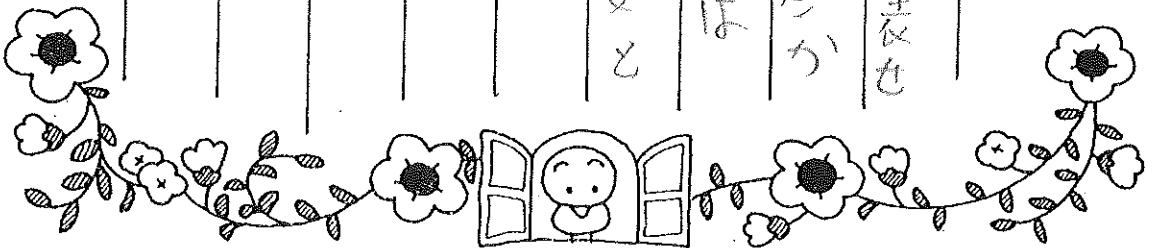


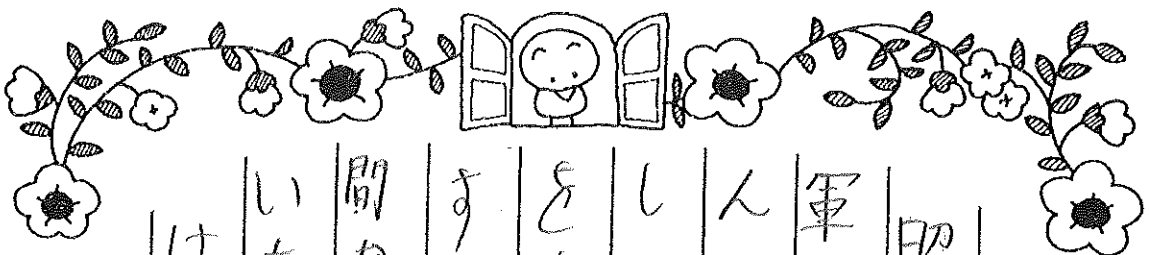
けど伝わってくるような気がしました。

原爆のいかはとてつもすごい。言葉では、まを
ないぐうい強かなものだ。たと聞きしました。だか
ら、原爆といつともおそろしい物を作つては
いけないし、日本がまちがえた戦争を、二度と
してはいけなうし思いました。

六年三組


木下誠飛

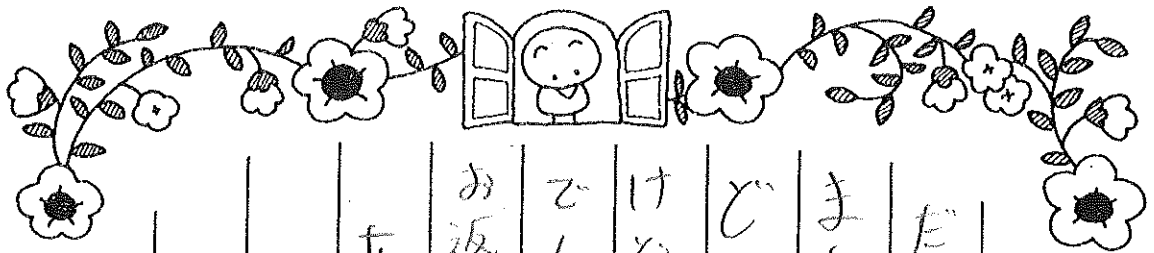




ぼくは池田さんのお話を聞いて、

昭和十九年、ふつは二十一才になったら
軍に入らなといけないうに池田さんのお父さ
んは十七才で軍に入ったので、すばら
しいなと、思いました。ぼくは池田さんの話
を聞いて、ぼくの気持ちをしうかいしま
す。えくまず、みやき、ばしをわた。たときには人
間なのかわからないうにいま、くろになっ
たというのを聞いた時、そうぞうです
けど人間がまっくろの所はかみの毛だけな
ので人間がまっくろというのは

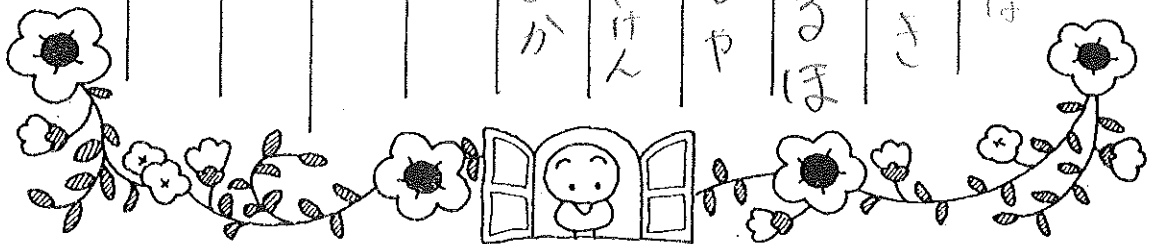


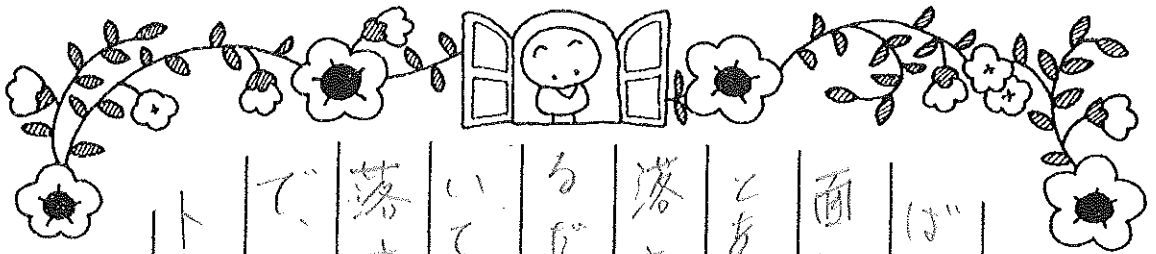


そうぞうしづらかったのですが、
だがま、くろに焼けたということに
しました。あと石にさわるとやけどするほ
どのあつやの話をされたときに、ほくもや
けどほどではなかったのですがあついと
でしま、たことはあります。こんなお言葉しか
お返しできませんがおいそがしい中本当に
ありがとうございます。

立川市立第九小学校

六年 中野 裕太



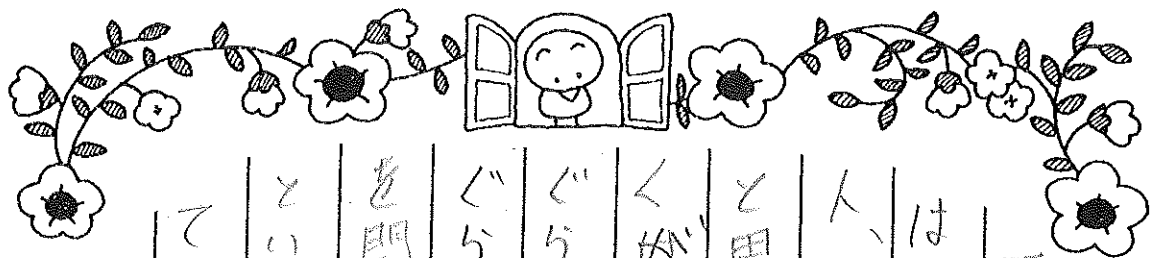


原ばくの話を聞いて、とてもおもしろい
 ばくだんだとわかりました。原ばくは、地
 面に落された温度が3000℃といつこ
 とを始めて知りました。原子ばくだんが
 落された時は暗くなって、何もも見えなくな
 るだと思いましたが、原ばくんは名前がつか
 っていることと始めて知りました。広島に
 落された原ばくの名前はリトルボーイ
 で、長崎に落された原ばくの名前はビ
 トマンという名前です。原ばくにも名前
 があるなと思います。

六年三組

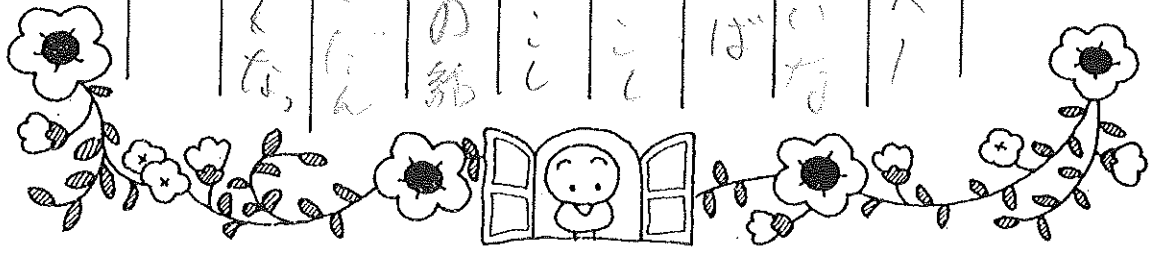
中橋 結希 さん

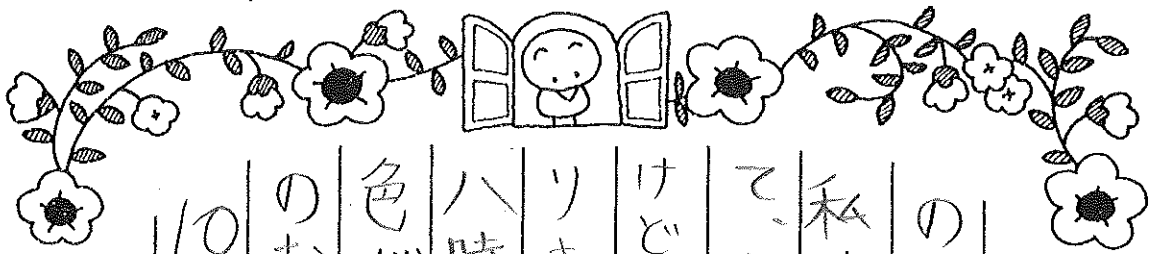




「死体を持っていくのに手でさわるとはたか^がぼろ^ぼろかになっ^ちやうか^け、一人一人、背中でお^がった^たの^う事^は、す^ごい^なと思^いました。ぼ^うか^用水^の水^は、原^ばは^くが^落さ^れた^時の^温度^が3000[°]水^がこ^しぐ^らい^しか^なく^て、3000[°]と^もあ^ると^水が^こしぐ^らい^しか^ない^なと思^いました。ひ^ばく^者の^話を^聞いて、原^ばは^くか^とも^おそ^ろしい^はし^んという^こと^がわ^かる^ので、早^く戦^争が^なく^なら^てほ^しい^なと思^いました。

六年三組 中橋 紅羽 希沙希

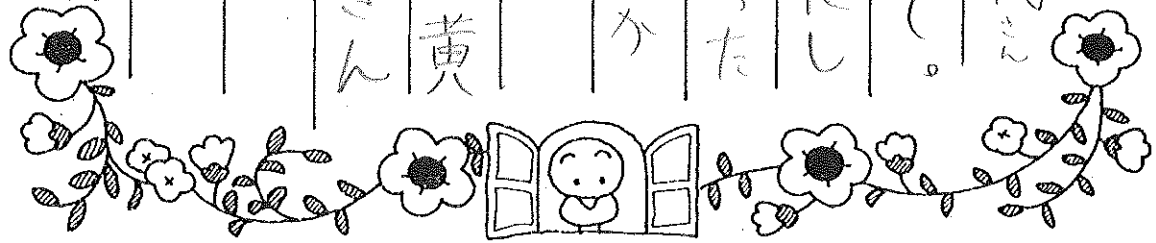


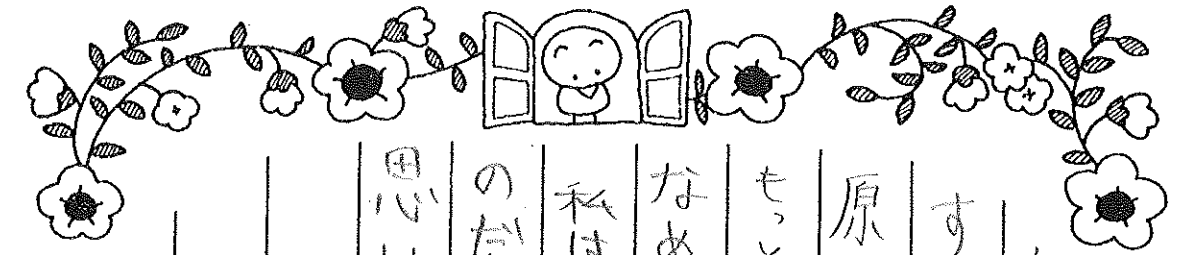


私はこの被爆体験をした池田眞徳さんのお父さんのお話を聞いてみて。私は、学習発表会で戦争学習を発表して、少ししか戦争のことをおぼろしいなかなけど、池田眞徳さんに話を聞きすぎてホッソりました。

八時十五分広島に原爆が落ちて赤、黄色がめえどカッ。そして池田眞徳さんのお父さんがどカッ。で、目をあけると10mぐらいいふきとばさかれていた。

でも、ドラムカンで、お父さんたちは



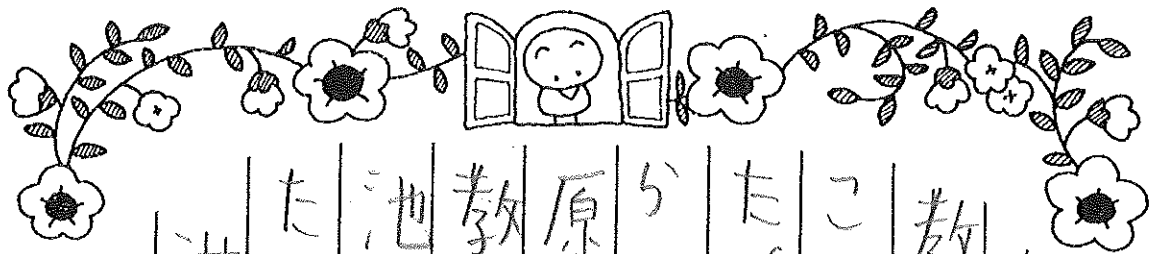


たすかった。そして、車に乗り道を
すすんでいくとかめの毛、顔、服が
原爆で黒こげた人達がいいた。も、とすすんでいくと
も、と人ではないぐらいの人がいた。そしてこうをな
なめにたらし歩いてる。

私は、この原ばくの話を聞いて、原ばくはこもりも
のだと思心、ていたけど、も、とおそろしいキのたと
思ひりました。

六年三組 金子 まりし





今日^びはくは被^レ爆^水体験のお話

を聞いてしかなうことがくわしく

教えても分かりました。戦争には

こんなこともあつたと思ひまし

た。原爆^水の種類かでも教えても

かり温度も教えても分かりました。

原爆^水の爆^水はつしはくいなとも

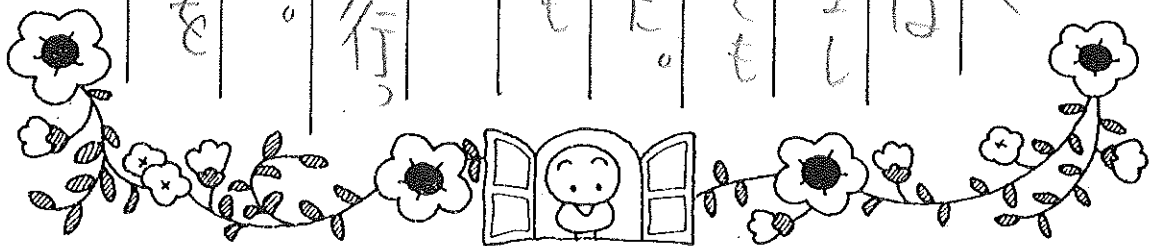
教えても分かりました。

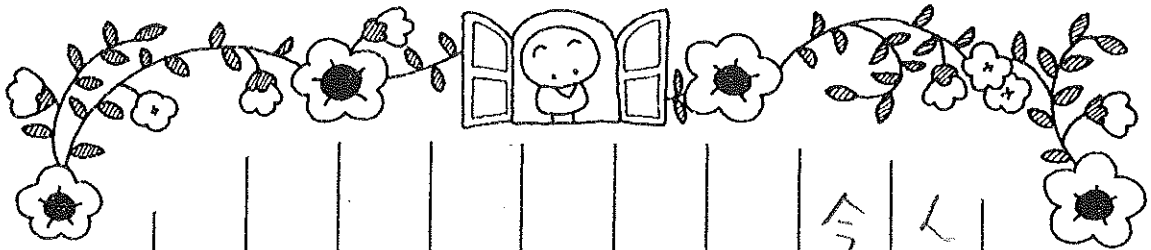
池田^水さんのお父さんは戦争に行

たことを知りびっくりしました。

池田^水さんに原爆^水のお話を

聞けてよかったです。

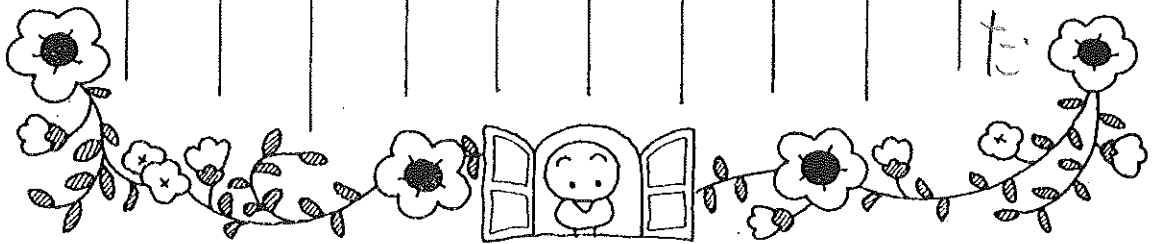




そして原爆は二度とつくて
はりけないうそろしい爆た
んたし思いました。

今日はありがとうございました。

立川第九小学校より塩野裕希



戦争は怖い

私は、池田さんに戦争の事を聞いた時は

おじいちゃんやおばあちゃんから聞いた話よりも
とても怖かったです。

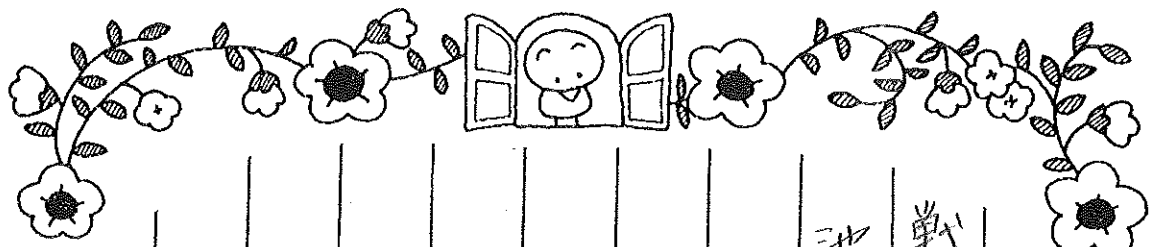
私のおばあちゃんの家にわおばあちゃんのおにいちゃんが
戦争に行った時に鉄ぼうでうたれたけど
死にませんでした。そして年で死んでしまっ
て焼いた時に骨と一緒に鉄ぼうの玉が出て来て、
おばあちゃんが今でも持っています。

私も見ましたがとても大きい玉で「ビックソー」しました。

私は、日本が色々な国と信頼し合っていて、と

戦争と言う怖い事はやめて、おー、と

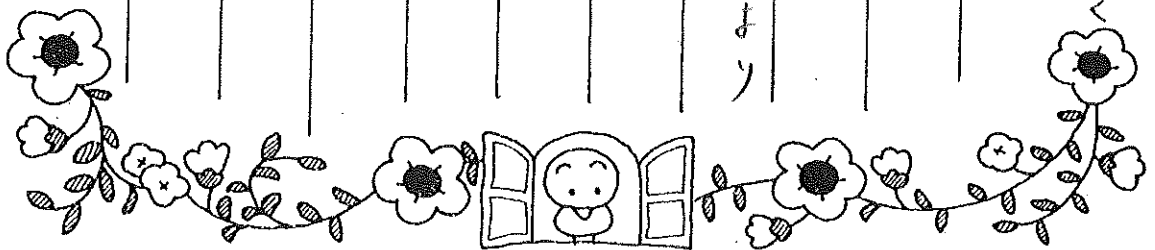
仲良く国々がいらるとうれしいです。

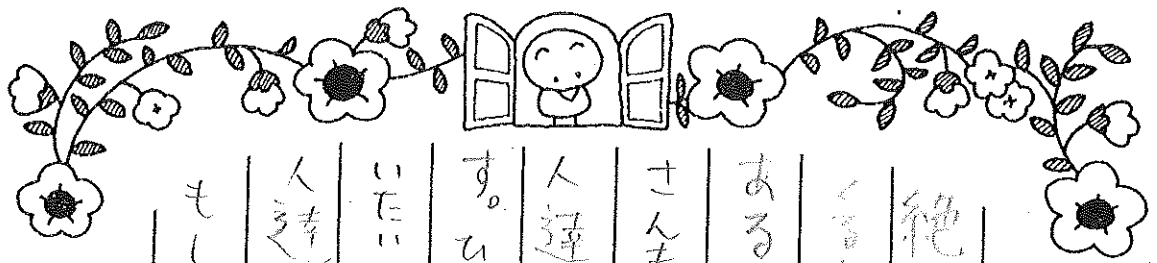


今、戦争をしていく国々は、やめて仲良く
なつてほしいです。

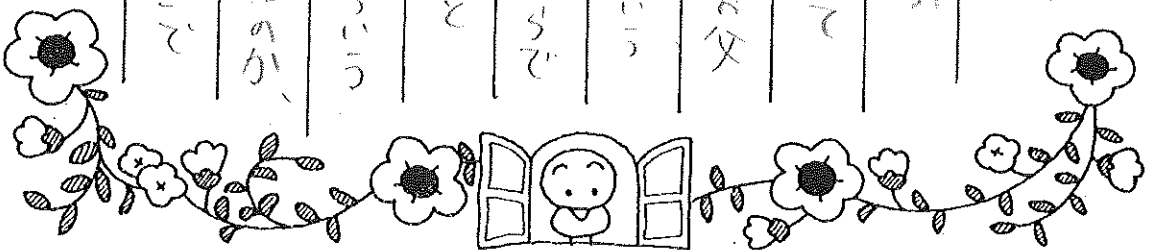
戦争の怖をしてくれてとても良かったです。
池田さんありがとうございました。

池田望実 より





私は池田さんのお話を聞いておぼろり戦争は
絶対にしてはいいなと思いましたが、多くの人は
くさしんだり・悲しんだりする戦争にいいなんて
あるのかなつと思えます。だって、池田さんも池田さんのお父
さんも、戦争のさぶくや後遺症にくさしているし、そういう
人達が私がそうどうできないくらいにくさっているからで
す。ひばくしてしました人は、私の女たまで考えるよりも、もともと
いたい思いをしていたんだと思えます。その時の日本はそういう
人達がたくさん出ることってことを考えて戦争をしたのか、
もし、わかっていたのなら、なぜ戦争をしていたのかふしぎで
なりません。



池田さんのお父さんは戦争で亡くなってしまった方を

燃くという作業をさせてその人間へにおやすがたになれ

てしまうほどたくさんしなげえばいけないうんて悲しすぎるこ

思いました。今は日本は戦争をしていないしもう戦争は

しないで思いますが、今でもかなしい戦争をつづけている国

があつてそういう国にも戦争はかなくておそろしくて二度と

やめてはいけなうと気づいてほしいです。なので私は池田さんが戦争

のおそろしさを伝えるかどうをしていることがすごいしそんけいでは

ます。なので私も未来へにおしえたりできるといいです。私が戦争

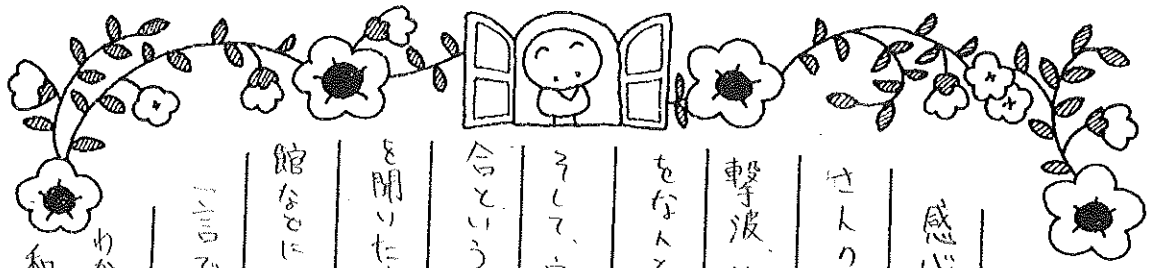
にあたりわけでも戦争のおそろしさをたいげんしたりはしてないけど

「戦争はもうしてはいけなう」ということわけでも伝えていきたいです。

六年

高野

廿四



まで飛べたというものにびっくりしたし、そこまで飛べるんだーという

感心もありました。それと、80gという「原爆」のウランの量で、あんなにたく

せんの被害が出ることにとてもおどろきました。原爆の威力には、熱線、衝

撃波、放射線があり、熱線、衝撃波は原爆の働きにそのようなものがあること

をなんとなく知っていたけど、放射線のことにはよく知らなくて、勉強になりました。

そして、ウラン原爆、プルトニウム原爆の核分裂というもののほかに水素爆弾の核融

合というものがあって、それは1000万度の熱があると爆発して、そのためにはどうすればいいか

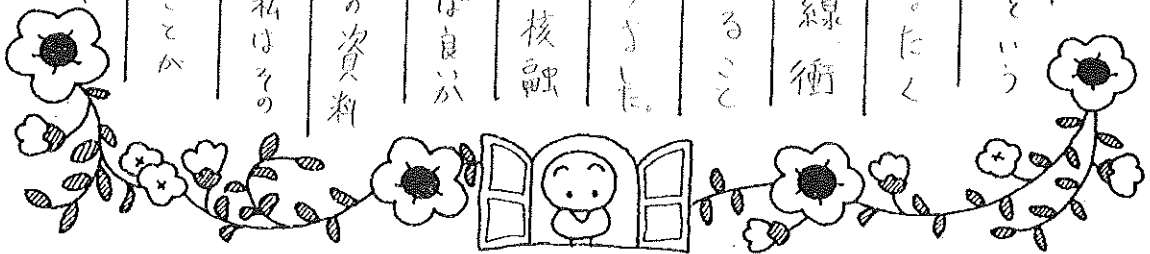
と聞いた時なるほどな、とくしました。最後に、被爆体験者の池田さんがその次資料

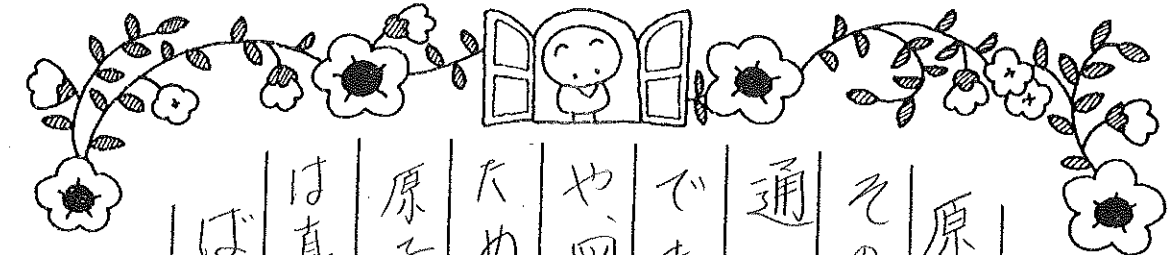
館などに行くと、時、被害にあつた人の人形を、きれいなまじると言っていたのですよね、私はその

一言で、戦争で、原爆で被害にあつた人が、これほどひどい傷をおつたのかということか

わかると思っています。今、戦争をしている国もあります。やがて戦争が終わり、世界が平

和になることを、私は誰かが祈っていると、思っています。





私の祖母も広島に住んでいるので、

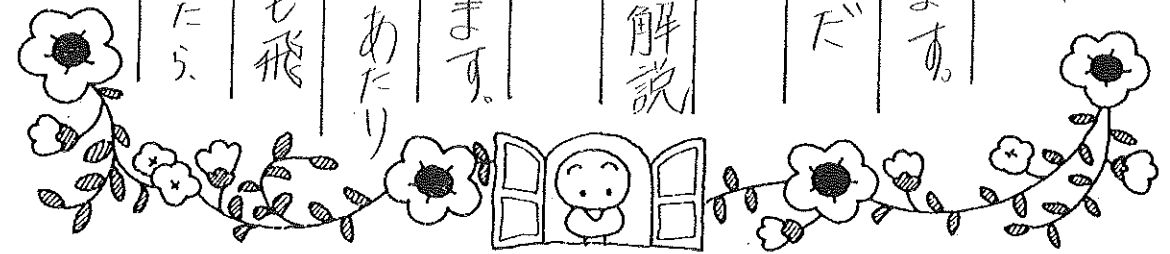
原爆ドームを見たことかろ回ほどあります。
その時は、戦争であつたことをまだよく知らず、ただ
通りすぎるだけでした。

でも今は、ろがいます。池田さんのゆかりやすい解説
や、図書館がら借りてきた原爆の本を見た

ため、戦争のおそろしさで胸がズキンと痛みます。
原子爆団が落ちた瞬間、何の物音もせず、あたり

は真暗になつたあと真赤になり熱風で10m以上も飛
ばされてしまつたのですね。もレドラマム缶がなつたら

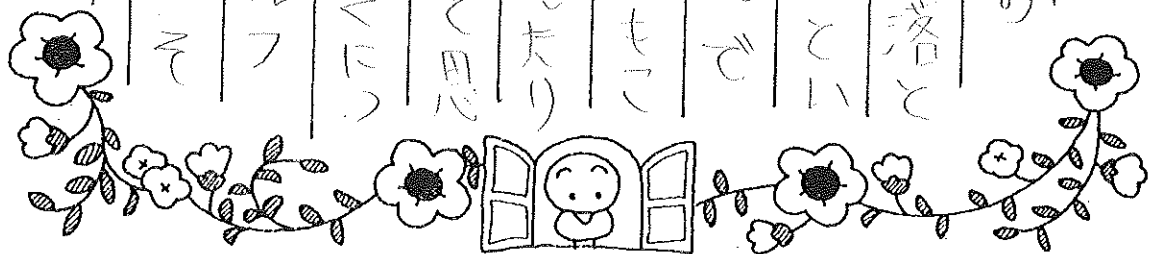
池田さんのお父さんは原爆のおそろしさを語ること
なく他界に行つてしまつたのでしようか。

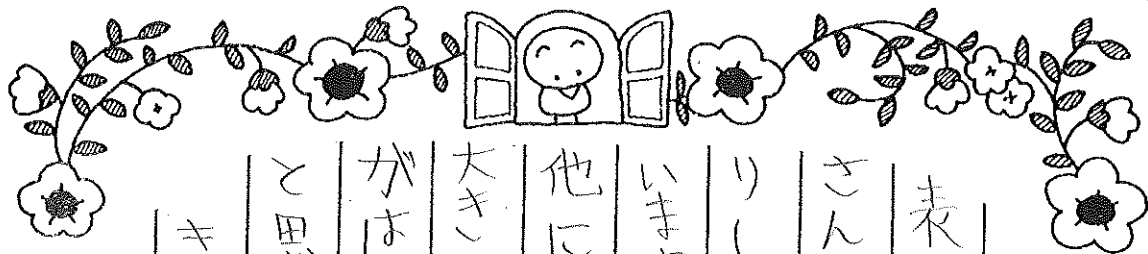




私は、池田さんの話を聞いて、原ばくのうお

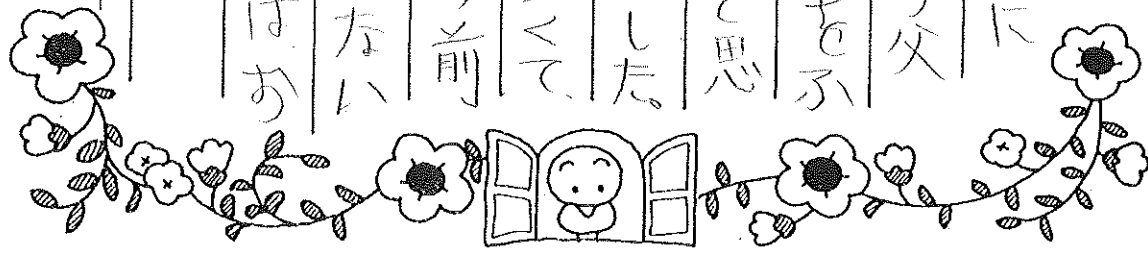
そろしきや、ごあざしを知りました。原ばくの落とした中バの場所の温度は、なんと百巧度という温度でそこにいた人は、みんなすぐ死んでしまったそうです。私は、そのことを聞き、とてもこわくなりました。助かった人も大やけどをしたりひぶがはがれたりして、私には信じられないと思っていました。人々の苦しみだけではなく、原ばくについて、私もよく知りました。原ばくの火薬は、ゴルフボールよりも小さく、少ない量と聞いて、そんなに、小さく少ない火薬の量の原ばく一つで人の命をたたくんうばい。





町などまでこわしてしまおうのは、言世本に
 表せないほど、おそろしいです。池田さんのお父
 さんは、皮ふがはがれおちた人たちを、勇気をふ
 りしぼり、こわがらうずトラマワに乗せてすごいと思
 います。私には、そんなことができないと心配い
 ました。他にも、戦争が使われたばくだんは、とて
 も重くて、大きなひがいを、広島はうけたと思
 います。目の前
 が、はい色の世界になるなんて、私はありえな
 いと思います。もう二度とおそろしいことはあ
 りてはならないと、思っています。

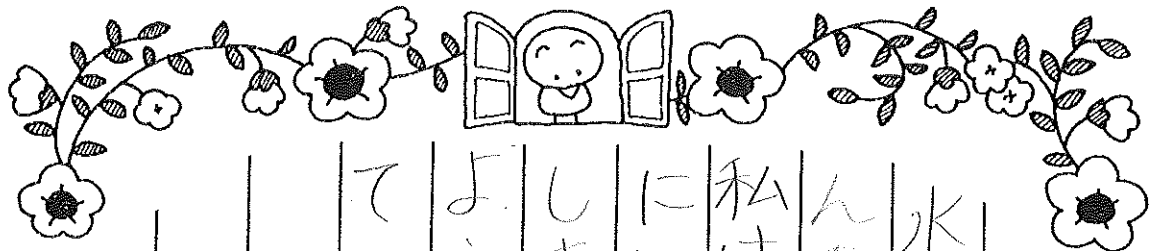
立川市立第九小学校 六年





私は池田さんにお話しを聞くまで
原爆はただこわいとしが思っていたな
が、たけれど、お話しを聞いて、原爆は
おそろしくやっではいけないことだ
と思いました。同じ人間が何人もの命
をなくし、建物や家をなくしてしまっ
たことはとても悲しいことだと思っ
ます。今の私たちにはありえないことだ
けど、いっしょんで何人もの人がさくなら
生きていても体の皮ふがはがれていた
り、とても苦しい状態だったことを知
って、言葉にあらわせないほど悲
しく、かわいそうだと思いました。



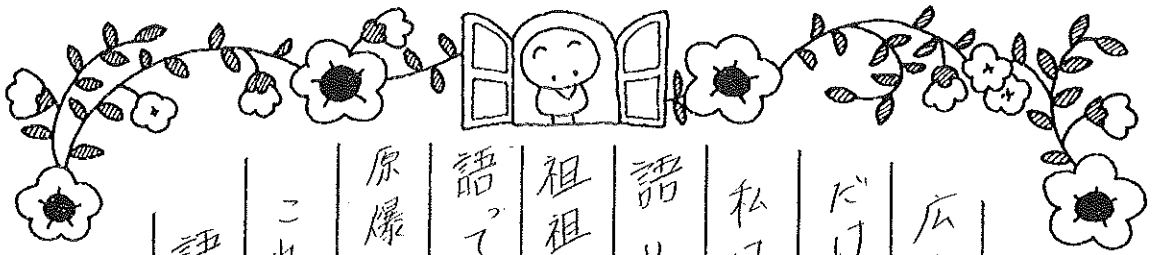


川に入ろうとした人々は生き
のびようとしたけれど逆に川の
水の温度が高くなってしまいました
んの人々が亡くなってしまいました。

私はこのお話をもちとたくさんの人
に知ってもらい、原爆や戦争のおそろ
しさをわかってもらい二度とこの
ようなことの起こらない未来にな
ていけばいいと思います。



立川市立第九小学校



戦争というものは本当におそろしいものです。

広島の前爆だけで10万人も亡くなつて、全国となつたらどれだけの数になるのでしょうか。

私は、今生まれていない人にも戦争や原爆のことを

語りつゝ必要があると思ひます。池田義三さんや私の

祖祖母のように実際に体験をなさつた方がだんだん少なくなり、

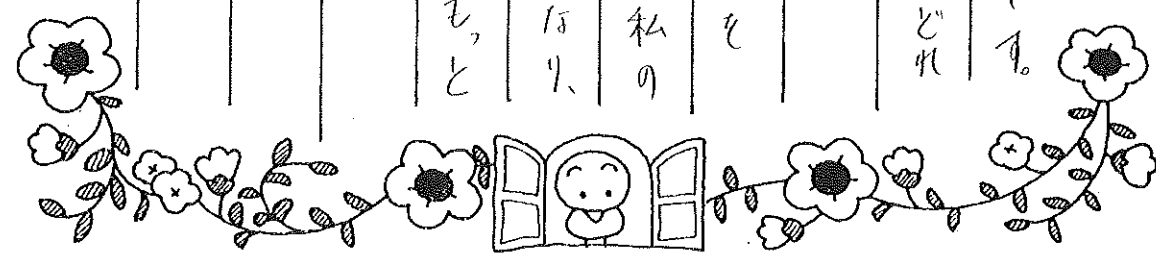
語つてくれる人も少数派です。祖祖母が生きていければ、と

原爆の話を書いておけばよかたと思ひます。

これからもお体におきつめて、原爆の事を

語つて下さいます。

立川市立第九小学校六年三組



感想

ぼくは、被爆体験者の話を聞くとき聞いた

時は、この頃の映像が流れると思っでいました。

でも、池田さんの話を聞くとそこまでこめくながつたけで、池田さんが話をした相心象もろしくこめ

くなりました。それに二十一才になったらか

ならず軍隊に入らなはいけなはいと

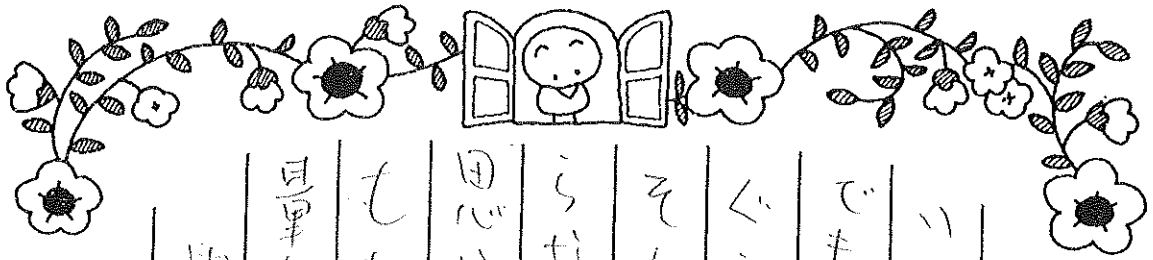
いこうことがすごいと思ひました。そし

て黒い雲が広がって見えないう空から爆

弾が落ちると思つて、とてもこめいと思ひ

ました。それに、ひら、かはがぬて歩く

たびにすれていたいと思ひました。



きは、とてもびっくりに聞いてただけで

いたいたしい感じでした。それで、爆弾

でもえた木などをさめるとやげにすう

くさいのあつこはすごいと田埂りました。

そして、爆弾が落ちた所にはなりものこ

らなると、聞いたところですごいやりよくたな

田埂りました。そして、BZ9の中には、4

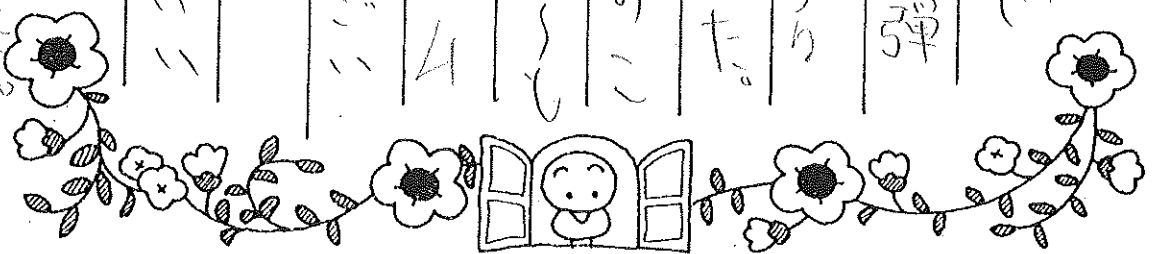
つもの原爆がつまわしてりしきつてものすこ

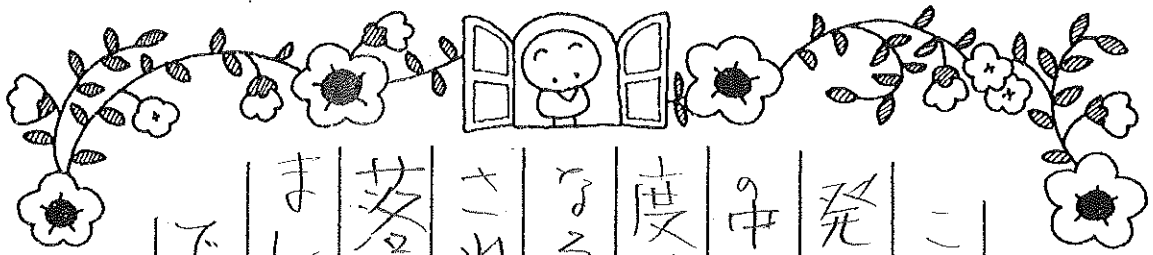
目撃たく思いました。

はくは、池田さんのはなしもきいてすこ

勉強になりました。たのりかとうごま

した。





「ぼくは原爆の話を知りて、改めて原爆は

こわいことだと思ひました。原爆は空中で爆

発してから、いろいろな所に飛び散ります。原爆

の中心の温度は、約一千万度です。太陽の表面

度は約六千度なので、太陽よりも熱いこと

になるので、とてもびっくりしました。原爆が落と

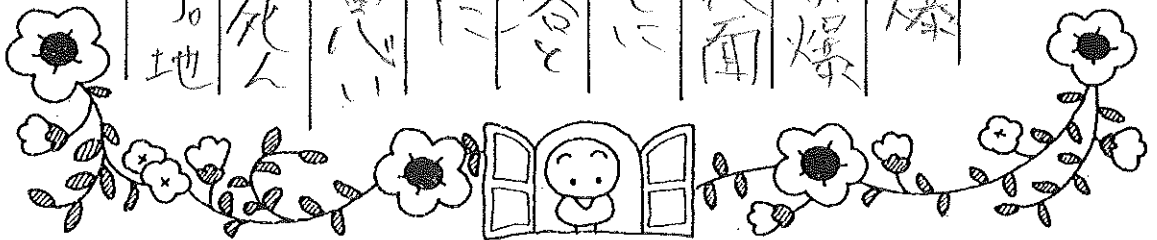
されたゆゑの国は日本で、広島と長崎に

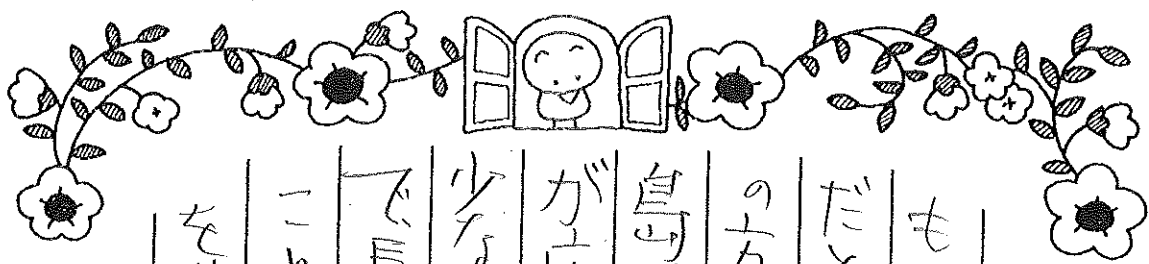
落とされたのはとても残念な事だと思ひ

ました。原爆での被害は、たくさんの人々が死

んでしまったこと、町が死んでしまったこと、地

上から五百七十里上空の所でも三千度と、



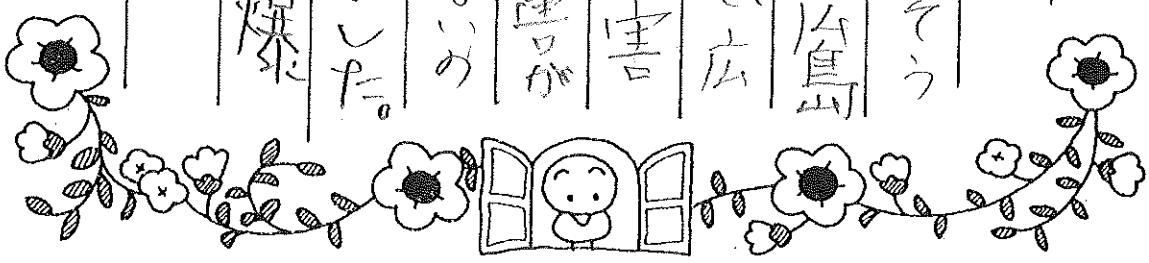


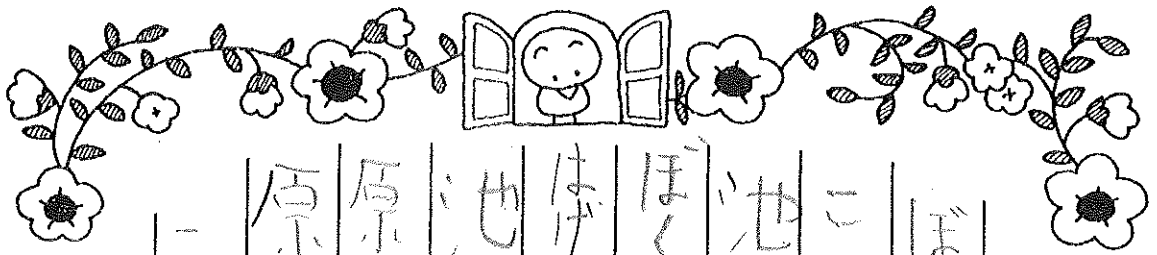
とても高温なので、地面についた時は、

ものすごく熱々になり、そこに居た人はかわいそう
だと思いましたが。被害の大きさは、長崎より、広島
の方が大きかったそうです。なぜかというところ、広
島は平野だけど、長崎は盆地です。山下被害が
が広島がらななかったからです。長崎の方が被害が
少なかったからというので、被害が少ないわけではな
いので、長崎の人もすごくかわいそうです。だと思いま
した。
これからは、もう日本や世界のどこかに原爆を
を落とすのはやめてほしいと思います。

六年三組

桑山太一





池田さんへ

ぼくは学芸部の発表会で戦争の
このまじ少しは知ってましたが。

池田さんの話を聞いて

ぼくが知っているよりも戦争は

はげしいことがわかりました。

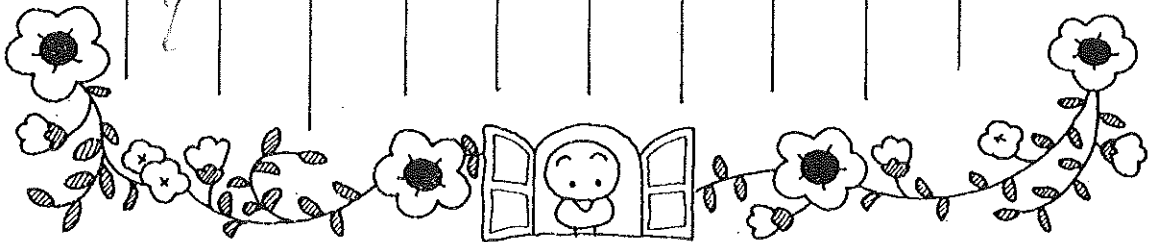
池田さんの話は原爆のいりよくや

原爆の目撃者として、

原爆で亡くなった人などの

こととも聞いてぼくは戦争のこと

少し知っているとゆいしました。



でも池田さんの

話を聞いています

ぼくは原爆は穴から来た

原爆がサッとするの思いました

でも池田さんの話を聞いて

いる原爆はそのままだに原爆

がサッとするに一回度又五百兆が

り原爆が火はつすることがわかり

ました、原爆のせいでは防車は

あるのですが水かたためたにふえな

いうことがわかりました

立川第九小学校6年組 組長 井 翔

原爆のおそろしさを知って……。

私の誕生日は、8月15日です。それは長い間続いた戦争が終った

「終戦」の日です。なので私は戦争の事について色々、

知りたいたくある。と思っっていました。そして、その中でも「広島と、

長崎に落とされた、原爆」については、とくに興味をもっています。

「ただ、原爆は、とてもおそろしい物だとは、知っていました。

「ただ、どうでもをつかむと皮ふがただお落ちるほどのお

そろしい物だとは、知りませんでした。それに、手を、ななめ、4に

すると、先から、おんえさがたれてしまふなんて、あまりにも

残酷すぎると思いました。それに、そんな人を前に出して

いるのに助けを求めない兵隊さんたちは、心がい

「どんなにいたくな、たかと思ひます。どんどん進め

は、進むほど、人が、黒いかに焼けていって、その

見て、口薬も出ないくらいにひどいと思ったと思います。

そのひどい人々も、とてもありがたいと思うのですが、

私が一番ありがたいと思ったのは、防用水の中の人々が

たくさんいて、とびろんとして、防用水に入って助かる人が

急いで必死になって飛びこんだのに、たくさんいて、とびろんとして

かちかちとついでに、なりました。原爆の色々な、たくさんな人を

た人を、がしりんと燃やさなければならなかった兵隊さんは、

その事は、一生の心の傷にも、たかと思えます。この頃は、たくさん

がたくなり、その中の一人は、一瞬でなくなりました。その人が

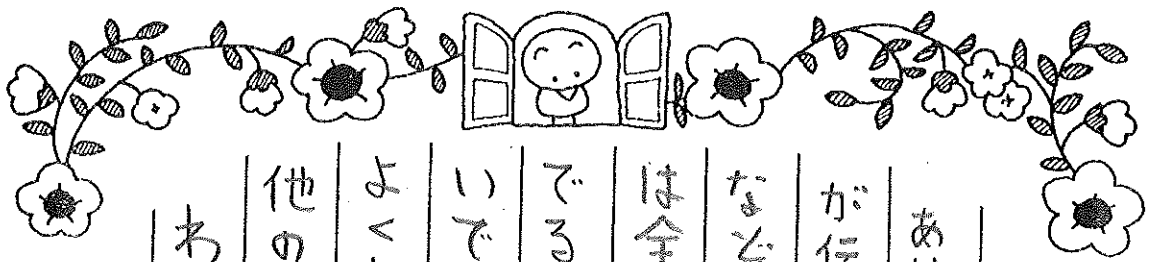
か出てきます。さて、3000人、なんど、熱い、熱い、熱い、熱い

ます。一瞬ではなくなりましたが、た人も、熱くて、熱くて、たまらな

と思えます。私は、今回、原爆のおさうじをあらためて、感謝

しました。そして、とてもいい勉強になりました。ありがとうございます。

神原 義典



「この前は被爆のことをいろいろ教えてくださり

ありがとうございました。被爆の恐ろしさ、怖さなどが

伝わって来ました。被爆を受けた方には身元の確認

などができずにとっても悲しみが伝わりました。ばくだん

は全てを焼いてしまい、そして何人ものおせい者が

でることを思うととても悲しみの気持ちでいっぱい

です。ぼく達も戦争の学習しているのでとても

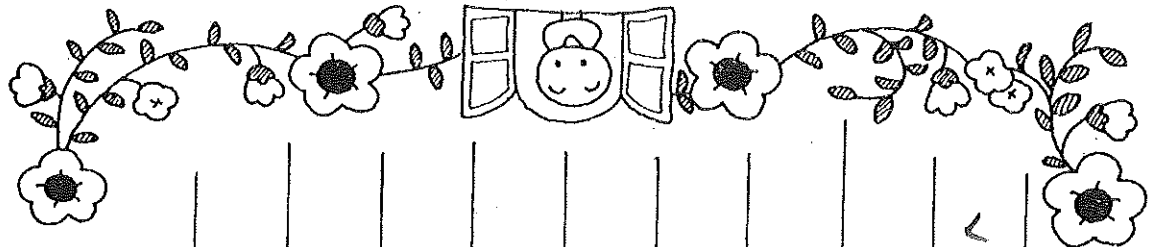
よくわかりました。今日日本は平和ですがまだ

他の国では戦争がありますか。日でも早くお

ねり世界中が平和になってほしいです。

もうにどと戦争が起ころないでほ

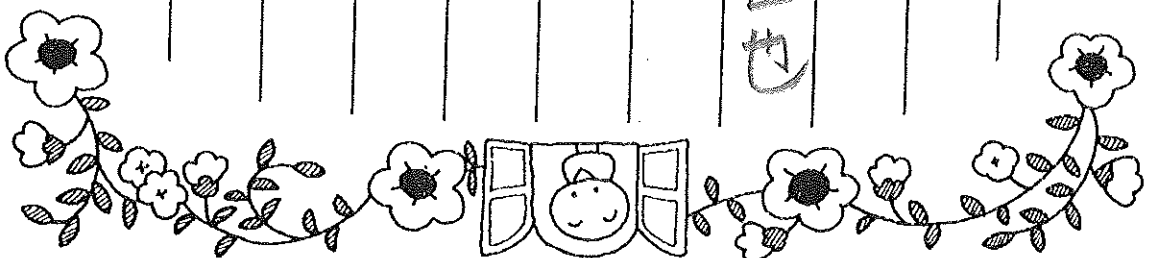


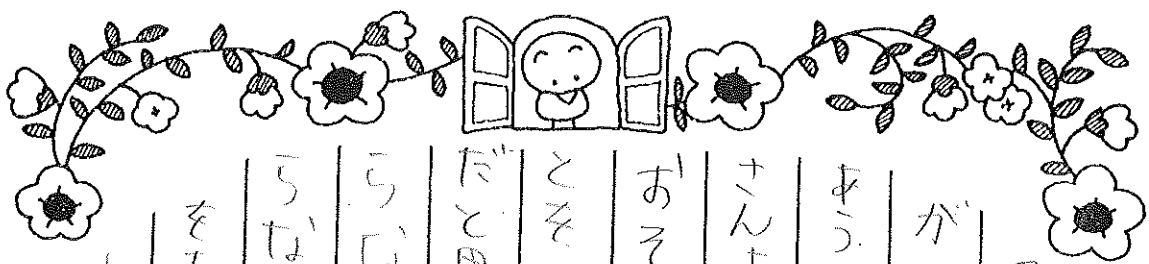


しいです。いろいろとおはなしを聞かして
くれてありがとうございました。

六年三組

長田直也





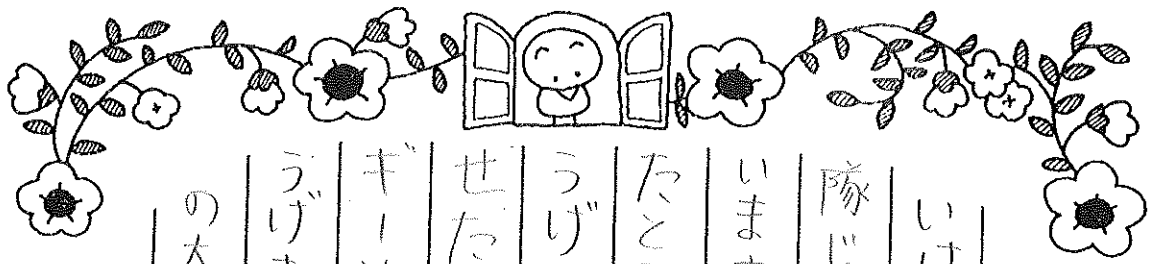
そして人間は危険だと思いました。ただ、国

がちがうだけで同じ人間なのに、をあたかに信じて
あつのはいけないと思いましたが、戦争をけいけんした。池田
さんより戦争はどんなものか分からなけれど、とにかく、
おそろしいと思えます。けど、そういう事があつた。こ
とをいまままで教えてきて、これからも教えていくべき
だと思えます。そして、世の戦争のような事が起こ
らないうち、他国と交流し、仲良くし、平和な未来を作
らなければいけないと思えました。これから戦争
をもとどんなものかを知って、戦争について、教える

あるように思います。立川第九小学校六年三組

木次 真任季





私はどんな話を聞いても、戦争はしては

いけないと思います。池田さんのお父さんは、戦う兵隊じゃないけど戦かてる兵隊と同じぐらい辛いと思

います。助けてと言ってる人を助けられなくて、つらか

たと思います。他国は少しでも自分達の

うりきが有利になるように空中でばくはつ

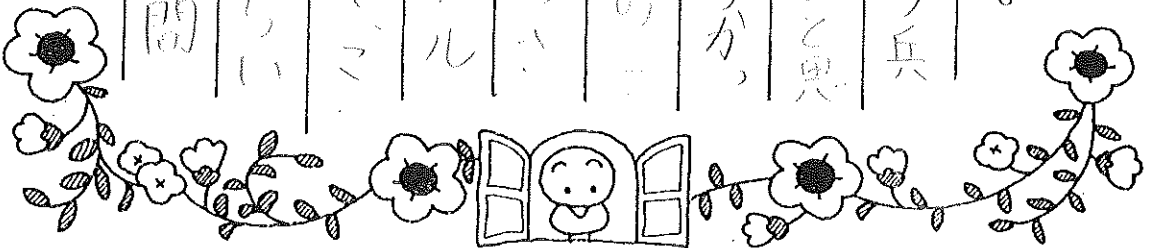
せたり、核にウランをぶつけるところに分かんない

ギョー放出という原利をつか、たゞ頭をつかて、こ

うげきしてきた、なと思います。ゴルフボールぐらい

の大キョウのウランで広島全体をやいて、人間

はともあそろしい生き物だと思バいました。



池田 ヲムンへ

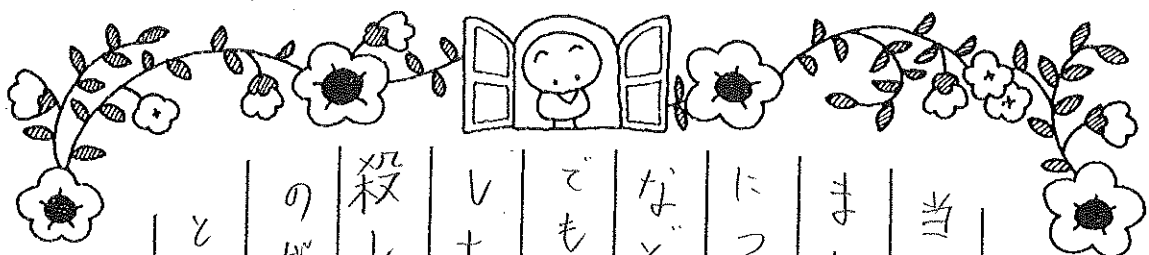
今回は大変お忙しい中ご指導しに来ていただき本当にありがとうございました。

いろいろなくわしい説明で内容も具体的に
よくわかりました。

そして、原爆の悲惨な出来事、
聞いていて、とても
恐しかったです。

爆心地に近づくにつれ被害にあつた人々の形
が人ではなくなつていつたり、
枯れている川には

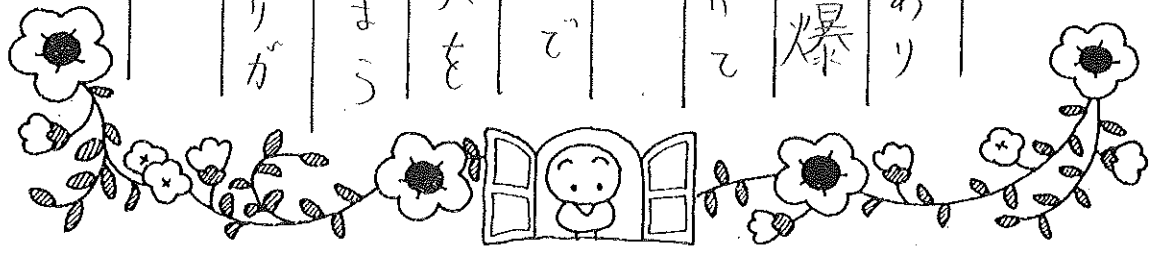
死体が山ほどあつたり、その死体には

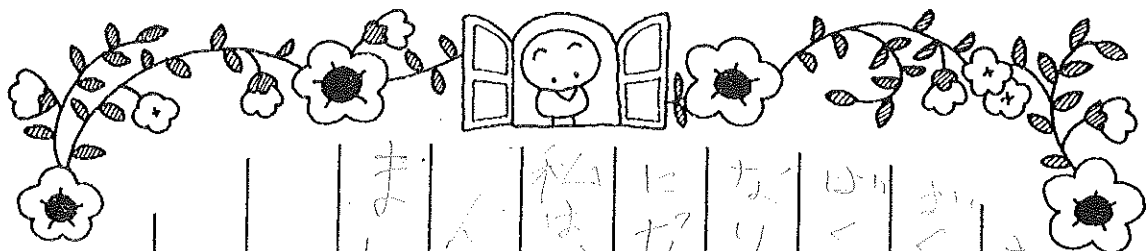


うじ虫がわいていたり、とぼく達には

当底考えられないうような事がたくさんあり
ました。その中でも一番おどろいたのは、原爆
についででした。 温度の話やしくねについで
など初めて聞くことばかりでした。

でも一番恐いと思っただのは原爆ではなく人間で
した。爆弾をちゅうちゅうなく落とすし、何人もの人を
殺してしまったり、とんでもない兵器を造ってしまふ
のが一番恐いと思っりました。本当に本当にありが
とうございました。





私は、この話の間に、半信半疑はにとど

まわしてはいけないう思いました。そして、原を

かくんがどおは、強いのから知った。原を

かくんがどおは、強いのから知った。原を

なりおした。私、この話を聞いてとてもかん

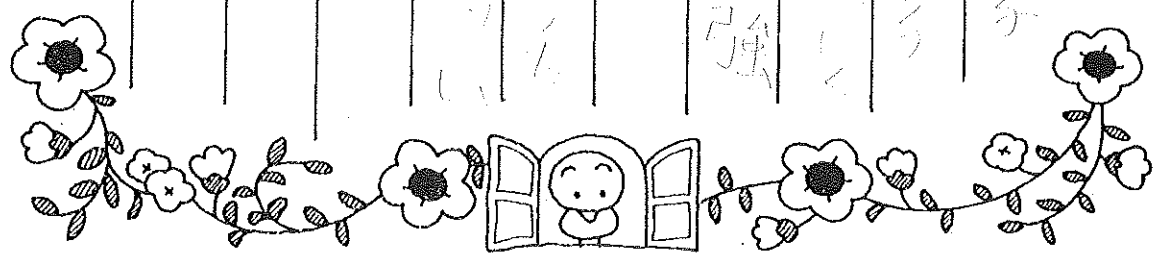
にりました。ありがとうございました。

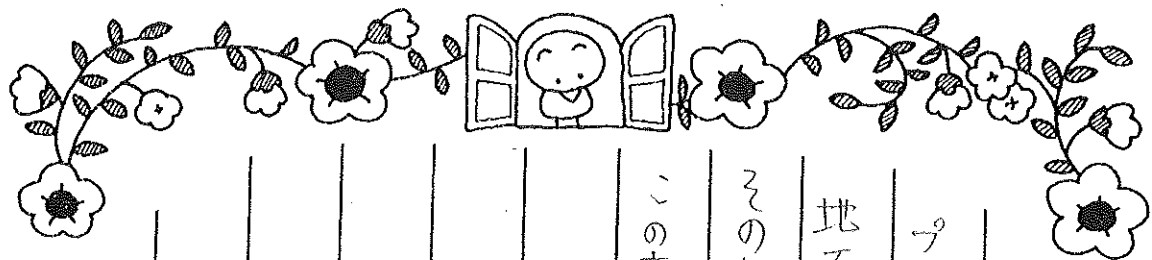
私は大人になったら、彼がどの話も多くの

人から聞いて、本当はあんなに

ました。

六年





他にも、原爆には、ウラン爆弾と

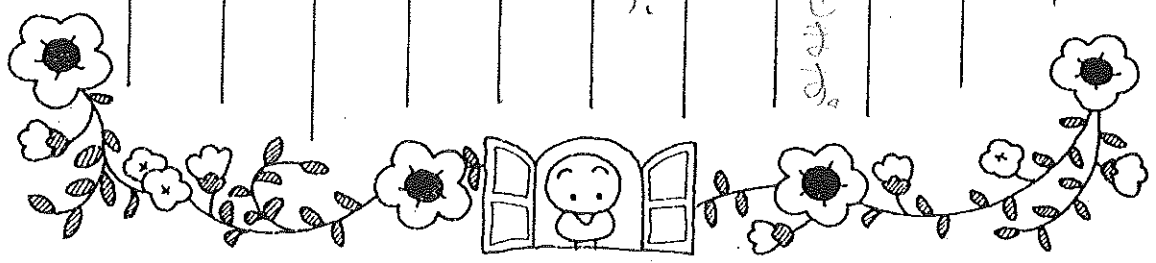
プルトニウム爆弾があります。原爆は、

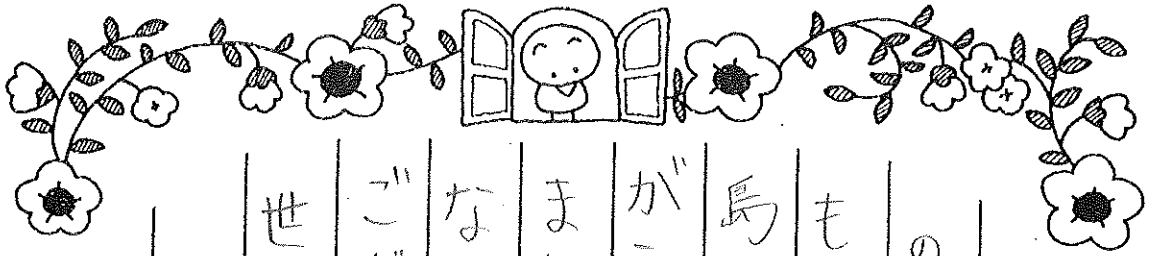
地面で爆発させるのではなく、空中で爆発させます。

その方が、範囲を広くできます。

この事から二度と原爆を落しては行かないと思えます。

6年3組 矢島涼太





私は、原ばくの話を聞いて、私

の考えていたものとは、何倍もちがう
もので、びびくりしました。たとえば、広

島のばくだんと、長崎のばくだんがち

がう、ものだと知って、おどろきました。

また、なぜ、上空でばくはつさせたか

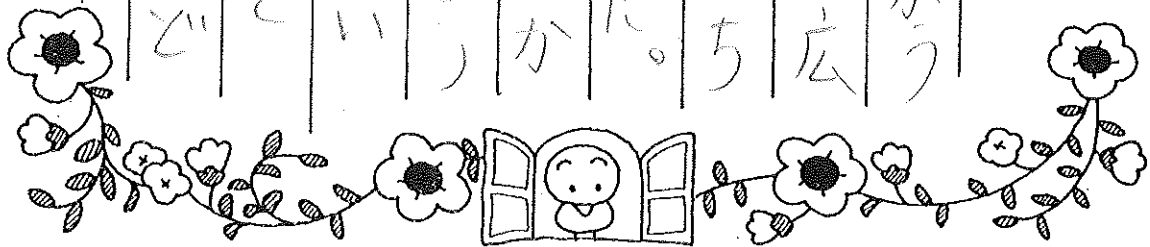
なども、教えていただいていたか

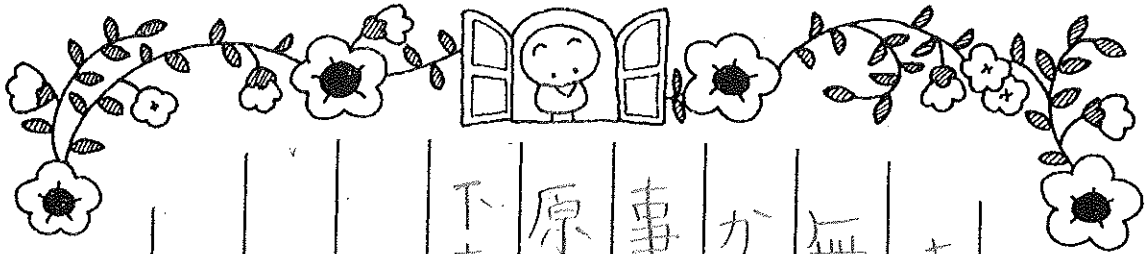
ありがとうございました。そして、日本が、広い

世界の中で、ゆいっ、原ばくを

落とされた国と知って、とてもおど

ろいて、びびくりしました。





でも、だから、原ばくの、おそろし
さを、まだ、原ばくを、落とさ、れた事、の
無い国に、教、えなく、ち、い、け、な、い、し、
か、く、の、な、い、平、和、な、世、界、を、作、っ、て、い、く
事、も、日、本、の、北、指、名、だ、と、思、い、ま、す。
原、ば、く、の、お、そ、ろ、し、さ、を、世、界、に、知、ら、せ、て
下、さ、い。

立川市立第九小学校

六年三組

